

拒絕理由通知書

特許出願の番号	特願 2003-073484
起案日	平成 20 年 3 月 7 日
特許庁審査官	岩間 直純 9287 5M00
特許出願人代理人	原田 一男 様
適用条文	第 29 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1－4, 5
- ・引用文献 1－3
- ・備考

引用文献 1, 2 に記載されているように、検索語句の同義語を抽出し、ユーザにより選択された前記検索語句又は前記検索語句の同義語を含む検索対象文書に関するデータを、前記ユーザに提示する検索方法は周知である。

引用文献3には、検索語句の同義語を抽出し、検索を行うものであって、検索語句及び同義語を含む文書の件数を提示するものが記載されている。

よって、請求項 1 に係る発明の

「前記処理部により、検索対象文書群中における前記検索語句の出現頻度を用いて算出された前記検索語句のスコアと、前記検索対象文書群のうち前記検索語句を含む文書の件数とのうち少なくともいずれかである前記検索語句の評価データを取得し、前記記憶装置に格納する検索語句評価データ取得ステップと、

前記処理部により、前記検索対象文書群中における前記検索語句の同義語の出現頻度を用いて算出された前記検索語句の同義語のスコアと、前記検索対象文書

群のうち前記検索語句の同義語を含む文書の件数とのうち少なくともいずれかである前記検索語句の同義語の評価データを取得し、前記記憶装置に格納する同義語評価データ取得ステップと」

との事項は、引用文献1－3に基づき、当業者が容易に想到することができた事項である。

(なお、仮に上記下線部が削除されたとしても、出現頻度は語句を評価するパラメータとして周知であるから、「検索対象文書群中における前記検索語句の出現頻度を用いて算出された前記検索語句のスコア」、及び、「前記検索対象文書群中における前記検索語句の同義語の出現頻度を用いて算出された前記検索語句の同義語のスコア」を評価データとして採用することも当業者が容易に想到することができた事項である。よって、いずれの場合であっても、上記2つのステップは当業者が容易に想到することができた事項である。)

また、評価データが所定の条件を満たさない場合に語句をユーザに提示しないとの事項についても、一般に、評価値が所定の条件を満たさないデータをユーザに提示しないことは、広く行われていることであるから、当業者が容易に想到することができた事項である。

よって、請求項1－4, 5に係る発明は、引用文献1－3に基づき、当業者が容易に発明することができたものである。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

・引用文献等一覧

1. 特開平11－045274号公報
2. 特開平05－314182号公報
3. 特開2002－099566号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C G 0 6 F 1 7 / 3 0

・先行技術文献 特開平6－309362号公報
 特開平5－314182号公報
 特開2001－282827号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 電子商取引（データベース・言語処理） 岩間 直純

TEL. 03 (3581) 1101 内線3597

FAX. 03 (3580) 6906